

経営理念

県民のひとりひとりが芸術・文化に親しみ、うるおいと生きがいに満ちた生活を営むことができるような文化的環境づくりを目指します。

経営基本方針

- 1 県と一体となって文化振興施策を推進することにより、県行政を補完し、県民の教育、学術及び文化の振興の一翼を担います。
- 2 県民のニーズを的確に把握しながら、県民が多様で優れた芸術文化に親しむ機会や、参加、創造する機会を提供するとともに、歴史や民俗等に関する調査研究や学習機会の提供、埋蔵文化財の保護、活用、文化団体への活動支援等を通じて、県民が文化をより身近に感じ、また、交流することのできる文化的環境づくりに取り組みます。
- 3 事業団の各施設が持つ機能やノウハウを最大限に発揮し、本県における文化振興の拠点としての役割を果たします。
- 4 事業団を取り巻く経営環境の変化に的確に対応しながら、職員の意識改革や資質向上を図り、役職員一丸となって経営改善を推進し、健全かつ適切な運営を継続的に行っていきます。
- 5 指定管理者の指定を受けた各施設の適切な管理運営を図り、指定管理者としての使命を果たすとともに、サービス向上やコスト削減に主体的に取り組めます。

令和4年度事業計画（総括）

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染防止に取り組みながら、上記の経営理念・経営基本方針に基づき、各事業所等における各種の事業を展開するとともに、いわて県民計画（2019～2028）の理念を踏まえ、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向け、豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育む取組みを進めます。

特に、県民が日常的に文化芸術に親しみ、楽しみ、そして潤う豊かな社会の実現を目指した事業展開を積極的に進めます。

また、「平泉世界遺産ガイドランスセンター」の管理運営や事業の受託に向けた体制の整備を進めるとともに、東日本大震災からの復興支援に係る事業を継続して行うほか、若者や後継者育成の活動支援等によるふるさと振興に取り組みます。

各事業所等における主な事業は、次のとおりです。

1 県民会館事業

県民会館の自主事業は、多様な県民の要望に応えるため、鑑賞型事業として「佐渡裕指揮 反田恭平ピアノ 新日本フィルハーモニー交響楽団」、「辻井伸行×三浦文彰 ARK シンフォニエッタ」、「小林研一郎指揮 読売日本交響楽団」などの演奏会、こども向けミュージカル「リトルゾンビ・ガール」の公演を実施し、より多くの県民に舞台芸術などの鑑賞の場を提供する。また、参画型・育成型事業や震災復興関連事業についても、引き続き実施する。

2 埋蔵文化財センター事業

発掘調査事業は、国や県の道路建設や農業基盤整備などの公共事業に関わる遺跡のほか、市町村からの学校建設や工業団地造成などの事業にかかわる遺跡も多くを占めており、8遺跡 79,627㎡を調査する。室内整理作業では、令和2～3年度に調査を行った中林下遺跡の整理作業を進める。

また、普及・広報事業では、継続事業として埋蔵文化財展や遺跡報告会等を開催し、文化財保護思想の普及に努めるとともに、洋野町を会場として東日本大震災復興関連調査展を行う。

なお、岩手県教育委員会からの委託事業である柳之御所遺跡発掘調査については、継続事業として実施する。

3 博物館事業

展示活動においては、企画展として「赤色に宿るチカラ」を、テーマ展として「水辺の生きもの」、「新収蔵資料展（文化史系）」、「新収蔵資料展（自然史系）」を開催するほか、随時常設展展示替え、トピック展の展示を実施する。

また、教育普及活動として各種講演会や講座、セミナー、観察会、たいけん教室などのほか、職員を派遣して行う「県博出前講座」や「学習利用」、「教材資料貸出」など学校教育との連携推進に取り組む。

自主事業においては、恒例の「博物館まつり」のほか、ゴールデンウィークに親子で楽しめるイベントや「私の岩手山」写真展示、夏には普段見ることのできない夜の博物館の魅力を知ってもらう「ナイトミュージアム」、秋には「ヒストリックカー&クラシックカーミーティングin博物館」、冬には「ミュージアムコンサート」などを実施する。

このほか、東日本大震災で被災した資料の安定化処理及び抜本修復を、被災機関からの依頼に基づき、継続事業として実施する。

4 美術館事業

展示関連の事業については、所蔵作品によるコレクション展（第1期～第4期）のほか6つの企画展を開催し、国内外の優れた美術作品や岩手県内又は本県ゆかりの作家による作品の鑑賞機会を県民に提供していく。

企画展のうち、「江口寿史イラストレーション展 彼女」及び「コレクター 福富太郎の眼」については、報道機関との実行委員会方式により開催することとしている。

教育普及活動事業については、展示関連の作品解説や講座・ワークショップ、美術普及関連の「オープスタジオ」や「アートデオヤコ」、「館長講座」や「学芸員講座」に加え、館員が各学校等の希望に沿って美術をより身近に学ぶための「出前授業」を積極的に展開するなど、県民が美術を楽しむことのできる多様な機会の提供に努める。

このほか、自主事業として、「美術館まつり」、「ナイトミュージアム」、「ファミリータイム」、「ミュージアムコンサート」等を実施して、美術館の利用を促進していく。

5 総務部事業

新型コロナウイルス感染症の影響により多くの文化芸術団体等の活動に支障が生じている状況を踏まえ、文化振興基金助成事業により県内の文化団体等の活動を積極的に奨励し、支援する。

芸術文化団体と連携して第75回岩手芸術祭を開催し、県民が文化芸術に触れ、鑑賞する機会を提供するなど、本県の文化振興の盛り上げを図る。

文化庁委託事業である「文化芸術による子供育成総合事業（芸術家の派遣事業）」は、東日本大震災復興支援対応として引き続き実施する。

平泉世界遺産ガイドセンターの事業運営等業務を引き続き受託するほか、指定管理者の選定に向けた体制を整備する。

このほか、事業団の運営・経営の安定化に向けて、収支均衡の財務運営、効率的かつ効果的な事業執行に努めるとともに、職員の資質向上、働き方改革に対応した組織体制の確立、事業団が実施する事業の周知やイメージアップのための広報の実施に取り組む。